

市政懇談会(西条公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月27日(水)19:00~20:02

参加者：54名(市民 41名、職員 13名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、  
市政懇談会開催日時点のものです。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	<p>・唐樋のポンプ場の増設について、昨年度の回答では、平成27年に実施設計、平成28年度から工事開始と、回答をいただいたが、現在の進捗状況を教えて欲しい。早急に実施してほしい。</p>	<p>【生活環境部長】                      ・唐樋の排水を担当している区域は、西条地域が中心で、雨水の浸水が多いところとなっており、ご心配をおかけしています。昨年と同じ質問をいただき、平成27年度に実施設計、平成28年度から工事を始めるとお答えしましたが、平成27年度に実施設計は終わっています。                      ・唐樋のポンプ場は、5台で合計3,100ミリのスクリーンポンプを設置できるようになっており、現在のところ、3台設置して対応しています。平成28、29年度に1基、9月に契約をする予定で、今年度ポンプの製作に入り、来年度に設置する予定であります。                      ・残り1基は補助金の申請ができておりません。補助金が獲得できましたら、5台目を平成29、30年度の2か年で設置をしたいと考えています。</p> <p>【市長】                      ・1年に1回の報告会ではありますが、地元の皆さんにとっては、年度の途中に進捗状況を知りたいのは良くわかります。危機管理に関することや、その都度、報告が必要なものについては、年度の途中に、出来るだけ公民館や連合自治会に、早くお知らせするようにします。</p>	—	・生活環境部
2	<p>・市政モニターをやっている。西条の小、中学校に防災士を置いたらどうかという意見を出した。教育委員会からの回答では、防災担当の教師がおり、県の防災管理担当者講習に出席しているとのことではあるが、再度検討いただけないか。</p>	<p>【市民安全部長】                      ・西条市では昨年度までに、県の補助事業を活用し、約800名超の防災士を養成してきました。その補助金が昨年度で終わる計画だったのですが、後3年継続することになり、西条市も年間80名、3年間でさらに240名の防災士を養成したいと考えています。                      ・募集方法としては、各自治会、地域に自主防災会を作っていただき、避難訓練等を中心にならしてやってもらうように取り組んでおりますが、その自主防災会に防災士が一人もいない地域があります。連合自治会に投げかけて、そのような地域を中心に、防災士の希望者を推薦して欲しいとお願いをしております。                      ・それに合わせて、小学校では、少なくとも12歳教育を担当される先生には、防災士の資格をとっていただくよう、要請しています。それで50名。その他”(防災女)ぼうさいじょ”という女性枠として、年間30名の防災士を養成していきたいと考えています。</p> <p>【市長】                      ・広報8月号のキャッチボールにも書かせていただきましたが、人口当たりの防災士の数で見ますと、全国でも圧倒的に高い割合です。ありがたいことです。</p>	—	・市民安全部
3	<p>・防災等、市からの要請で自治会を中心にやらないといけない事業があるが、自治会に入っていないメンバーはどのような扱いをしたらよいか。また加入促進のやり方を教えてほしい。</p>	<p>【市民安全部長】                      ・自治会への加入率は年々低下しており、現在、約64%です。元々地元ではない方が多く住まれている地域等は加入率が低いようです。                      ・自治会に入ったら役員をしないといけない、会費の集め方に疑問を持っている、またお祭りに関わるのが億劫である等、地域によって様々な理由があります。これは全国的な問題となっており、自治会の仕事をできるだけ少なくしていこうとしている地域もあります。                      ・加入促進については、特効薬はありませんが校区によっては、1件1件回っているところもあれば、また自治会加入促進という部門の担当の役員の方が、地道に地域を回ってお声かけして加入促進に努めていただいているところもあります。                      ・災害が起きると、行政の力ではどうにもなりません。地域の力が地域を助けるということは、皆さんもお分かりだと思います。そのためには地域の力を蓄えておくことが必要であり、そういう防災の活動を通じて地域のまとまりを作っていただけたらと思っております。防災から始まって、昔のように、殆どの方が自治会に入っていたように、ご協力をお願いします。</p>	—	・市民安全部

市政懇談会(西条公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月27日(水)19:00~20:02

参加者：54名(市民 41名、職員 13名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、  
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
4	<p>・自治会に入っていない方は、ゴミ袋の配布はどのようにしているか。無料で配布されるのか。 ・自治会に一人でも入ってもらう方法として、ゴミ袋は地域の自治会長のハンコをもらってから市役所まで取りに行くという提案はどうか？</p>	<p>【生活環境部長】 ・自治会に入っていない方は、市からハガキを送って市役所まで取りにきてもらうようにしています。 ・規定の枚数までは、無料で配布しています。 ・ゴミステーションは自治会が管理しているところが多いので、加入されていない方は、自治会の方に一言かけてもらってから捨てるように指導しています。 【市長】 ・できる限り必要性を説明して、加入を呼びかけていきたいと思っています。</p>	—	・生活環境部
5	<p>・連合自治会、クラレ、西条市の3者で災害時協定を結んだ。 ・自治会内からクラレに向う市道上に架設された橋梁は、災害時の強度は大丈夫なのか。また、補強はできないか。旭橋と港橋についての現在の状況と、今後の予定を教えてください。</p>	<p>【建設部長】 ・旭橋については、橋梁長寿化修繕計画に基づき、平成26年に修繕工事を実施しました。このことで、架設後64年を経過している橋ではありますが、老朽化の進行を抑える対策は完了しています。 ・港橋については、平成14年に一度、上部工の耐荷力を向上させる修繕工事を実施しておりますが、その時、下部工までは工事を行っていません。そのため平成29年度より、下部工の修繕工事を予定しています。 ・これら2橋で実施するのは、主に修繕工事であり、耐震補強の予定は今のところはありません。現在、耐震補強を行っているのは、第三者被害の大きい、JR予讃線の上を越えている跨線橋や、高速道路の上を越えている跨線橋を優先して行っています。 ・平成31年度までに、対象橋梁9橋を耐震化する予定としています。 【市長】 ・復旧後の防災面もありますし、クラレの産業支援ということもあるので、できるだけ急ぐように検討させたいと思います。</p>	<p>・旭橋については、平成26年度に長寿命化のための修繕工事を上部、下部工ともに実施済みです。 ・港橋については、平成14年度に上部工の修繕を実施済みであり、下部工の修繕は平成29年度に予定しています。 ・現在のところ、これら2橋について耐震補強を行う予定はないが、今後、産業支援の面も考慮し、市内の公平性にも配慮しながら、検討して参ります。</p>	・建設部
6	<p>・西条小学校の体育館について、夜間開放として利用している。耐震対策はされているが、窓が全く動かなかつたり、外れていたり、ガムテープ等で補修されていたりする。避難所となっているが、施設に対しての対応はどのようにしているのか。</p>	<p>【市長】 ・西条北中は補助金がついて、まもなく工事に向けて取り組みを始めます。運動場の東側に今の体育館の1.5倍の大きさの体育館を新築します。小学校についての改修計画は、後日お知らせ致しますので、ご理解いただきたいと思います。</p>	<p>・現場調査を行い、潤滑油の吹き付けと、外れた戸車をレールに入れ、全ての窓が開閉可能となりました。今後は、日頃の管理を徹底し、維持管理を行うよう努めます。</p>	・教育委員会管理部